



# 第1章

## 水道ビジョン Ver.2 策定の趣旨

---

- 1-1 策定の背景と目的
- 1-2 計画の位置付け
- 1-3 計画期間と目標年次

## 第1章 水道ビジョン Ver.2 策定の趣旨

### 1-1 策定の背景と目的

我が国の近代水道は、明治 20 年に横浜で誕生し、市民生活や経済活動の発展、生活水準や公衆衛生の向上に大きく寄与してきました。

しかし、近年の少子高齢化や人口減少社会の進展、環境問題の深刻化、情報通信技術の進歩などの急激な社会構造の変化、規制緩和や地方分権の進展などの経営環境の変化、加えて、生活様式の多様化や水道に対する意識の変化など、水道事業者にとって、これからの事業運営の方針を見直すべき時代を迎えています。

このような背景を踏まえ、厚生労働省は平成 16 年 6 月、水道関係者の共通の目標となる水道の将来像を明示した『水道ビジョン』を公表しました。その中で提起されている「安心」「安定」「持続」「環境」「国際」の政策課題に関する目標を達成するため、各水道事業者に、自らの事業の現状と将来の見通しを分析・評価し、目指すべき将来像を描き、その実現の方策などを示す『地域水道ビジョン』の作成を推奨しています。

このことから、本市水道事業の現状を分析・評価し、その将来像と実現のための施策目標や施策方針などをまとめた中長期的な経営基本計画として、平成 21 年 4 月に『合志市水道ビジョン Ver.1』を策定しています。

その後、『合志市水道ビジョン Ver.1』に沿った事業の経営および施設整備に取り組んでまいりましたが、合志市全域のより効果的かつ効率的な配水の検討、より高度な防災、減災への対応および安全で良質な給水を確保するための対策について、具体的な道すじを明らかにするため、平成 24 年 5 月『合志市水道事業基本計画』の策定に着手しました。

このことにより、上位のまちづくり計画である合志市「総合計画〔第 2 期基本計画〕」および「重点区域土地利用計画」等との整合を図り、『合志市水道ビジョン Ver.1』のレビュー(※)を行うとともに、『合志市水道事業基本計画』と連動した『合志市水道ビジョン Ver.2』を策定するものです。

#### 【※:レビュー】

再検討(する)、再考(する)、復習(する)、論評(する)、講評(する)、検査(する)、精査(する)、点検(する)、査察(する)、審査(する)、回顧(する)などの意味を持つ英単語です。

## 1-2 計画の位置づけ

合志市水道ビジョン Ver.2 は、厚生労働省が策定した水道ビジョンを受け、合志市独自の地域特性を持たせた計画として策定しています。策定にあたっては、合志市総合計画【第2期基本計画】や合志市地域防災計画、合志市重点区域土地利用計画などと整合を取りつつ、それらの方針に沿って精査・検討するとともに、水道事業ガイドライン業務指標PI(※)などの客観的データに基づいて事業の分析・評価を行いました。なお、本ビジョンに示した目標は、個別計画として具体化を検討するとともに、財政状況や水道利用者のニーズ、社会情勢などの変化を踏まえ、定期的な見直しを図っていきます。



【※: P I】 水道事業ガイドラインに基づく業務指標のことで、事業を客観的な数値で示し、様々な角度から分析するための規格です。

水道事業全体を網羅した6つの分野（安心、安定、持続、環境、管理、国際）について、137項目の指標を用いて経年比較などを行うことにより、業務の状況を定量的に把握し、事業の成果を評価する際に活用するとともに、お客さまにわかりやすく情報を提供するものです。

### 1-3 計画期間と目標年次

合志市水道ビジョン Ver.2では、現状の分析及び評価、現状の課題を抽出したうえで、目指すべき将来像に向けた具体的な取り組み施策を検討し、それらを明らかにします。

計画初年度を平成25年度、計画目標年次を平成34年度と設定し、計画期間は10年間としています。

